

DXを活用した 新しい個客体験の提供

私たちのお客様は「顧客」ではなく、生活者一人ひとり(個人)である個客です。個客の「快適体験」を届けるため、ビジネスモデルそのものをデジタルへ変換し、まったく新しい価値を創出することで、ワクワクするような体験を創造・提供していきます。



1 次世代コアビジネス創造プログラムの推進

プラス株式会社では、2021年4月より、社長直轄のデジタルトランスフォーメーションへの取り組みとして「みんなのDXプロジェクト」を立ち上げました。会社のカルチャーや組織、ビジネスモデル、社員の意識や働き方、事業、業務内容、基幹システム等に至るまで“聖域”を設けず変革していく未来戦略です。並行して、2025年をターゲットにした中期経営計画の柱となる具体的

な事業の方向性「VISION 5Ds」も決めました。また、「みんなのDXプロジェクト」の一環として、新規事業案を募集して参加者を選抜し、具現化に向け検討を進める「次世代コアビジネス創造プログラム」を開催しています。現在、新しい個客体験の創造に向けて、スプリント3を推進中です。

■ オフィス向けフローズンフード定額利用サービス「タベルル」

次世代コアビジネス創造プログラムから事業化した「タベルル」は、“健康”や“ご当地”をコンセプトに安心・安全でカラダに良い食べものを本格的なテイストで冷凍した状態でお届けします。職場で手軽に美味しい食べものを味わうことができる環境を提供し、社内交流のきっかけも生み出す新サービス「タベルル」を通して、ワーカーの満足度を高め、幸せな職場づくりをサポートしていきます。

「食」から職場を明るくするアイデアを形に。

タベルル株式会社 代表取締役社長 奥田 浩士

周りにお店がない・時間がないなど、オフィスでの食事は困りごとの一つ。職場での食事環境をより良くすれば、働く人をよりハッピーにでき、コミュニケーションのきっかけにもなると考えました。クオリティや味はもちろん、ご当地グルメなどユニークなラインナップにもこだわっており、最終的には購買データから一人ひとりの好みに合わせた商品をお届けできるサービスを目指します。本プログラムには、各々が新しいアイデアを出し合い、良さを認める文化が根付いています。今回の事業化を通じて、「チャレンジを形にできるんだ」と良い刺激になったと思います。



2 DXによる職場の快適・満足度の向上

■ センシングや予約システムを活用したオフィス環境の見える化

プラス株式会社 ファニチャーカンパニーは、オフィスにおける快適性・安全性や社員間のコミュニケーションを、さまざまなデータを用いて“見える化”しています。CO₂・温湿度・照度のセンシングや座席管理システム(Suway[®])、AIカメラに加え、集中度・疲労度を脳波・脈波から測定するほか、産学連携によるコミュニケーション環境のにぎわいの可視化研究、ロボット活用などの実証実験を行っています。こうした社内実践から得たオ

フィス環境データの評価分析結果に基づき、継続的なオフィス改善をソリューション化するとともに、お客様への高品質な移転リニューアル提案に活用していきます。

※ デスクをIoT化することで、働く場所を予約席にして利用できる座席管理システム。



座席管理システム
Suway
スワイ